臨床研究に関する情報の公開

作成日：2025/04/23

研究課題名	スルファメトキサゾール・トリメトプリム投与中止から、ニューモシスチス肺炎発症までの期間についての検討
研究の対象	2007年1月から2018年12月までに当院においてHIV感染を合併しないニューモシシスチス肺炎と診断された方
研究目的・方法	ニューモシスチス肺炎(PCP)は*Pneumocystis jirovecii*（*P.jirovecii*）によって起こる呼吸器感染症であり、HIV感染患者さんに多く見られていましたが、HIV感染していない免疫抑制状態の患者において最も頻繁に起こる日和見感染症の内のひとつです。抗がん剤治療や免疫抑制治療を受ける患者さんが増えるに従い、HIV感染を合併しないPCPの発症リスクや発生数は増加してきていると言われています。また、HIV感染を合併しないPCPはHIV感染を合併するPCPと比較して重症化しやすく予後が悪いことが知られています。そうした非HIVを合併しないPCPにおいては、ステロイドホルモン投与が重要な発症リスクとされており、一定量を超える量を内服される患者さんにおいては、PCPに対する予防内服をすることが推奨されています。しかし、ステロイドホルモンが漸減される過程において、いつ PCPに対する予防内服を終了すれば良いのかについては科学的根拠が乏しく、予防内服中止後にPCPが発症することがあります。そこで当院ではHIV感染を合併しないPCPと診断された患者さんの症状や検査データを含めた臨床情報を解析し、発症時のステロイド内服量や予防内服の有無、また予防内服を中止後なのであれば中止から発症までの期間について検討します。 研究期間：許可日～2026年3月31日
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢・性別・既往歴・ニューモシスチス肺炎発症までの経過・血液検査データ・画像データ・細菌学的検査データ等
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒530-8480 大阪市北区扇町2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 電話：06-6312-1221、FAX：06-6312-8867 呼吸器センター呼吸器内科 部長　井上大生（研究責任者）